

2026(令和8)年度 柳原銀行記念資料館 第38回特別展 「崇仁教育」と特別支援教育



1925 (大正 14) 年 崇仁尋常小学校 教職員写真

前列 右から 7 人目…伊東茂光校長

後列 右から 4 人目…高宮 (堀) 文雄

同 6 人目…有馬良治

同 7 人目…高宮 (八田) ヲコト

第38回特別展

期 間: 2026年10月1日(木)～29日(木) ※ 展示替え休館日
時 間: 午前10時～午後4時30分 9月26日(土)～9月30日(水)
場 所: 柳原銀行記念資料館 10月30日(金)～11月1日(日)

記念シンポジウム「崇仁教育」と特別支援教育

日 時: 2026年10月17日(土) 午後1時30分～午後4時(午後1時開場)
場 所: 公益財団法人 世界人権問題研究センター 多目的スペース
(京都市立芸術大学内A棟7階)

所在地: 京都市下京区下之町57-1

第1部: 基調講演「高宮文雄と障害児教育」

玉村 公二彦(京都女子大学発達教育学部教育学科教授)

第2部: パネルディスカッション

コーディネータ 玉村 公二彦(京都女子大学発達教育学部教育学科教授)

パネラー 南 裕志 (なづな学園本部総務部長)

田邊 滋人 (東山総合支援学校初代校長・なづな学園理事)

竹口 等 (崇仁自治連合会・京都文教大学名誉教授)

定 員: 80人(先着順・入場無料)



主催: 京 都 市
柳原銀行記念資料館運営委員会

同じです あなたとわたしの 大切さ
令和8年9月発行
京都市文化市民局共生社会推進室
京都市印刷物第081076号



2026(令和8)年度 柳原銀行記念資料館 第38回特別展

「崇仁教育」と特別支援教育

第37回特別展（2025年）「今村家と崇仁（柳原庄村）との交流～今村忠次と桜田儀兵衛～」において、今村家当主であった今村壽子さんは、「やっぱり触れ合うことから差別が取れていって、人と人との付き合いへと高まっていく、そういう意識が修道地域に広がっているから（東山総合支援学校を）作らせてもらうときにみんなが歓迎してくださった。」「その土台を作ってくださったのが崇仁小学校の校長であった高宮先生ご夫妻であった。」と述べられていました。

崇仁小学校では、同和教育の源流といわれる「崇仁教育」の実践が行われましたが、それは「一人の児童をも置き去りにしない」という強い指導理念がうかがわれるもので、障害児教育もその一つでありました。

伊東茂光第11代校長の下で、有馬良治は、部落と障害という二重の差別に苦しむ知的障害のある子どもたちに目を向け、特別学級の編成を主張しましたが、赴任後2年余りで病に倒れました。有馬の遺稿をまとめ、その志を受け継いだのが後に第12代校長となる高宮文雄でありました。

高宮文雄は、同僚であった八田ヲコト（後の高宮ヲコト）と共に、40年にわたる崇仁校の教育実践において、貧困や差別の克服、勤労、夜学指導、女子教育、そして知的障害のある子どもたちへの教育を追及しました。

本特別展では、高宮夫妻に焦点を当て、崇仁小学校における能力別学級編成と「特別学級」の再興など障害児教育の実践や、京都市精神遅滞児教育研究会会長としての活動、「なづな学園」の開設などを紹介します。

特に、なづな学園の活動や地域との交流が、東山総合支援学校設立時の修道学区の温かな歓迎につながったことは、今村忠次と桜田儀兵衛の交流が今も息づき、豊かな実をもたらした結果であると考えます。

2026（令和8）年 9月
京 都 市
柳原銀行記念資料館運営委員会